



No. 172

6月 定例会

2023. 8. 15

やいづ 未来へつなぐ

議会だより

特集 介護福祉士
原川大介さん⇄市議会



ここに注目!

特集：未来へつなぐ

市民インタビューVol.20 1

6月定例会概要..... 3

市政をただす！一般質問..... 6

各委員会の議案審査..... 14



介護をとおして焼津に貢献

〜介護福祉士の原川大介さん〜

原川さんの
お仕事について教えて！

市内外のいくつかの介護施設で、利用者の方やご家族の人生を支えるために、施設経営者やスタッフと一緒に、より良い介護方法を考えたり、施設の介護力を高めるための人材育成や課題解決、業務改善などを行っています。

また、介護従事者や地域の方々に向けた認知症介護に関する研修の講師をしています。

介護の仕事をする中で、
苦労したことは？

自分が夜勤をやっていた頃、当時のルール、介護保険法を守った



焼津図書館にて
貸出中です



インタビューの様子
(写真右が原川さん。左は川島・村田議員)

上で、一人で30人のお年寄りを看なければいけない時間があり、ナースコールがあつちでも鳴り、こつちでも鳴りという状況の中で、どうして良いか分からずイライラしてしまい、つい強く当たってしまった瞬間がありました。

そういったこともあり、介護の仕事辞めようかと本気で考えた

認知症介護について
伝えたいことは？

ときもありましたが、同時に、介護の仕事が始めた時からすごく楽しいと思っています。今は、誰かのために頑張っている介護士を支えることがやりがいになっています。

認知症の方を介護しているご家族は、今まで通り無理なく接して頂けたら良いと思います。家族ですから、時には、怒ったり放っておくことがあっても良いと思います。ただし、疲れてしまったり、困っている方は、どうか人の助けを頼ってほしいし、周囲の方は、ご本人にも家族にも優しい言葉をかけてほしいと思います。

現在、焼津市だけで約4千人の方が認知症を患っています。その



原川大介さん

議員が直接話を聞いて市民の本音に迫る「市民インタビュー」。

今回は、『わたしが、認知症になったら』の著作者で介護福祉士の原川大介さんにお話を伺いました。



研修会の様子

方々に3人ずつ家族がいるとしたら、ご本人・ご家族合わせて1万6千人になります。焼津市民の8人に1人以上の方が、日々認知症という課題に直面しています。

だから、市民の皆さんには、認知症という課題を、他人事ではなく自分事として捉えてほしいです。また、我々のような専門職は、普通の感覚を忘れずに、介護の仕事への誇りと、認知症を持つ方への敬意を持って、日々、自分自身を労いながら仕事を頑張ってほしいと思います。

認知症になった方や、そのご家族は、辛く大変な思いもなさってありますが、地域の方がちゃんと理解してくれさえすれば、その不幸や負担が減ることが結構あります。また、市の制度や介護事業所とか、誰かの助けを借りることで減らせる負担や不安も少なからずあります。

だから、「認知症になっても不幸にはならないよ」とは言い切れないけども、「認知症＝不幸」とは限らないし、辛く大変な思いをしている方も、今より幸せになれるんじゃないかというのは、断言できません。

皆さんに 知ってもらいたいことはある？

先程も言いましたが、焼津市でも、現に約4千人の方が認知症を患っていること、その方を介護している方がいることを知ってほしいです。

そして、地域の人の何気ない言



週2回高草山を走り、焼津の自然を満喫している

葉や態度で、ご本人も家族もとても救われることを忘れずにいてほしいです。どうか、絶望ではなく希望を与える人であってほしいです。

そして、認知症問題に直面している方は、「助けてくれる制度や人がけっこういること」と「頑張り過ぎずに人に頼っていいこと」を知り、助けてもらう勇気を出してほしいです。例えば、市内でも医療福祉従事者は1万人近くいるし、介護施設は百か所以上あります。

今後の目標を教えてください！

今、目の前のことに感謝して、今できること、すべきことをなるべく楽しみながらやっていきたいです。それが結果的に、焼津市が更に良い市になることに貢献できたらとてもうれしいです。



原川大介さんの略歴、活動内容等は下記2次元コードからホームページをご覧ください。

メールアドレスはこちら
harakawadaisuke@outlook.jp



定例会 概要

高齢者いきいきおでかけ支援事業費など 合計12億72万6千円の一般会計補正予算案を可決！

市議会6月定例会は、6月1日から6月28日までの28

日間の会期で開かれ、市長提出議案20件を審議

6月1日 本会議第一日

- ・静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙
- ・人事案件6件を同意（市長提出）
- ・市長専決処分による報告（承認案件）5件を上程し、承認
- ・補正予算2件（一般会計、し尿処理事業特別会計）、条例案件3件、一般案件3件を上程（市長提出）

6月20日 各委員会の議案審査

- ・各委員会で付託された議案を審査（P14～16参照）

6月28日 本会議第四日

- ・6月1日及び6月19日に上程された9議案の審査結果報告及び質疑、討論を経て、全て可決（P4・5参照）

6月16日・19日 本会議第二日～第三日

- ・一般質問14議員（P6～13参照）
- ・追加議案を1件上程（市長提出）

主な議案の審議結果



令和5年度焼津市一般会計補正予算（第2号）

増額1億5千万円

子育て世帯生活支援特別給付金の支援対象に対し支給

児童1人当たり5万円

全会一致原案可決



令和5年度焼津市し尿処理事業特別会計補正予算（第1号）案

増額3,980万円

バキューム車事業に係る債務負担行為を設定しようとするもの

全会一致原案可決



令和5年度焼津市一般会計補正予算（第3号）案

増額12億72万6千円

◇住民税非課税世帯支援給付金給付事業費

3億1,134万4千円

低所得世帯に対し支給

1世帯あたり3万円

◇高齢者いきいきおでかけ支援事業費

1億3,822万千円

70歳以上高齢者に対し支給

商品券3千円

◇デジタルLifeサポート事業費

7,635万円

◇貨物自動車運送事業者支援事業費

2,350万円

◇多電力使用事業者支援事業費

6千万円

◇消防団の力向上モデル事業費

5百万円

ほか

全会一致原案可決



焼津市温泉スタンド条例の制定について

焼津温泉スタンドの設置にあたり、その管理について必要な事項を定めるもの

全会一致原案可決



豊田地域交流拠点施設建設用地の取得について

豊田地域交流拠点施設を建設するための用地を取得するもの

(写真)小土ちびっこ広場近隣の用地

全会一致原案可決



水槽付き消防ポンプ自動車の取得について

焼津市消防団第18分団が使用している水槽付き消防ポンプ自動車の老朽化に伴い取得するもの

全会一致原案可決



焼津市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法施行令の改正に伴い、国民健康保険税の軽減措置等に関する規定についての改正

全会一致原案可決



焼津市税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法の改正に伴い、国税として創設された森林環境税の賦課徴収に関する事項等、所要の改正に伴うもの

賛成多数原案可決

議案20件中、賛否が分かれた採決状況

(○印は賛成、×印は反対 石田江利子議長は可否同数の裁決以外は採決に加わりません。鈴木浩己議員は欠席。)

議案名		議決結果	賛成:反対	四之宮	鈴木ま	井出	藤岡	村田	原崎	吉田	奥川	石原	内田	増井	河合	石田	村松	川島	杉田	岡田	秋山	池谷	鈴木浩	深田
市長提出議案	議第48号 焼津市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	15:4	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×

討 論

■ 「議第48号焼津市税条例の一部を改正する条例の制定について」に対する討論の主な内容

反対討論 杉田源太郎 議員

森林環境税は、東日本大震災を口実に導入した復興税（2023年度で終了）を住民税均等割に1,000円を上乗せして継続するもので、所得税が非課税の人にも課税する逆進性の高い国税である。森林環境税は「森林環境譲与税」として国から市町村へ交付される。その交付額は人口比率や木材利用

率等で決められる。森林が少なく人口の多い都市部の市町村に交付金が多く、森林の多い自治体に十分にお金がいけない。国の政策で輸入自由化を進め林業経営が厳しくなっている。その財源は国の一般会計で林業予算の配分を増やす等で保障すべきである。

賛成討論 河合一也 議員

議第48号については、「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」に基づき、令和6年度から国税として課される森林環境税の賦課徴収に関し必要な事項を定めるとともに、固定資産税に関する減額措置及び来月1日から新たな交通ルール

が施行される特定小型原動機付自転車に係る軽自動車税の税率を定める等、改正全体の趣旨として、地方税法その他の法律との整合を図ろうとするものであると認められる。よって、今回の改正は妥当なものと考え、本案に賛成する。

反対討論 秋山博子 議員

「議第48号焼津市税条例の一部を改正する条例の制定について」のうち、国税の森林環境税1,000円を住民税の均等割4,000円に上乗せして賦課・徴収する増税に対し、次の3点から反対する。1点目、国税に均等割は通用しないという租税理論の原則に反する。

2点目、自治体によって課税対象が異なり不公平。3点目、今回の増税が前例となり、今後も国税の住民税均等割が通ってしまいかねない。議員各位には国が決めたことだからと矛盾や懸念に口をつぐむことなく注視してほしい。

市政を質す！

一般質問

6月定例会では、14議員が一般質問を行いました！

議員個人が市の執行機関に対して、市の事務の執行状況や今後の方針などについて質問を行います。

スマートフォンやタブレットをお持ちの方は、右記2次元コードからもアクセスできるほか、各議員の顔写真下に掲載された2次元コードから直接、議員の映像配信をご覧いただけます。



昨年の台風15号の以降の東益津地区河川流域の治水対策

Q 台風15号時の石脇川新水門について県の解析結果では閉鎖された方が浸水は緩和されていたものと解釈できるものだったが、台風15号以降の対応を伺う。

A 県では新水門の逆流検知器の整備と操作手順の見直し、水防体制の向上が図られている。市では東部排水機場と新水門における操作の連携強化、排水ポンプ車の出動態勢の再整備等、防災・減災対策に取り組んできた。

Q 高草川流域ではどのような対策がなされてきたのか。

A 台風15号後の市の対応は坂本地区などの浸水を緊急対応。今年度も策牛地区、花沢川の浸水により、治水対策の強化を図る。県が実施中の遊水地は早期完成を目指し工事が加速されている。

Q 市長による県への要望事項は。

A 台風15号直後の10月と2月、治水対策の強化を繰り返し訴えた。要望事項は高草川遊水地の早期完成、石脇川新水門の排水ポンプ場の新

設、東部排水機場の遠隔制御化、水災害対策プランの早期完成の4項目について要望。



かわい かず や
河合一也
(凌雲の会)



焼津市総合水防訓練時に展示された水防活動用排水ポンプ車

子どもたちに郷土愛の種を

Q 郷土愛を育むために小学3、4年生で副読本を活用しているのはすばらしい。現場での活用は。

A 社会科の授業で教科書とほぼ同様の扱いで活用する。

Q 副読本以外で、小中学校を通じた郷土愛を育む学習時間は。

A 小学校では漁港や水産加工店舗工場見学、農業体験等、中学では焼津の良さを再発見する地域学習を行っている。

市内事業者・市民にとってのスマートシティYAIZU

Q 2月15日にサービスを開始したスマートシティYAIZUには事業者向けサービス、市民向けサービスが提供されている。どのような事業者が何の目的で利用し、どんな効果が得られるのか。

A ふるさと納税協力事業者が本市のふるさと納税に関する統計情報を閲覧でき、データに基づいた販売戦略を検討し、売上向上を目指す上で有効である。

Q 市民の利用者を拡大する為、強力なキャンペーンをおこなう等具体策はあるか。

A 本年度のスマートシティ推進方針策定の際に、アンケート調査など予定している。キャンペーンも効果的だと思われるので研究している。

Q 活用促進に向けた焼津市役所内の連携はどうか。

A 焼津市のDX推進プロジェクトチームでは様々な関係課で力を合わせて解決に取り組んでいる。



ふじおかまきや
藤岡雅哉
(無党派)



スマートシティYAIZU
(市HPより)

ゼロカーボンシティの達成

Q 焼津市は2050年までに温室効果ガス実質ゼロを目指すゼロカーボンシティ宣言をしている。温室効果ガスの対象は何か。

A 産業・運輸・家庭各部門のエネルギー消費に伴う排出が対象。

Q 各部門の排出量の計測は。

A 国や県で把握しているエネルギー消費量を製造業出荷額等統計データで按分して算定。

Q 市民や事業者が自分事として取り組む施策の計画は。

A 本年がスタートアップ。市民がより意識を高める取り組みを進める。

「ひきこもり」今後の支援のあり方は

Q 市の設置する対応窓口には様々な相談があると思うが、担当課以外と連携する協議会の実績は。

A 庁内15課や民生委員、13事業者と構成する協議会を、令和5年2月に開催している。

Q ひきこもりへの理解促進のため、行政・民間支援員への研修を充実させてはどうか。

A 職員や関係機関を対象に研修会を開いており、今後も継続する。

Q 研修会をやったの課題は。

A 実際の支援では、居場所づくりや外出支援が一番難しいため、協議会でよりよい方策を検討していきたい。



ひきこもり対策は
全庁で取り組む体制で!

外国につながる児童生徒に対する焼津市独自の体制を

Q 外国につながる児童・生徒の増加に対し、学校生活の支援等の充実を図るため、市独自の体制整備が必要と思うがどうか。

A 新たに入国する児童・生徒には、転入前に就学ガイダンスを行い、母語の習得や学力等を把握し、プレ教室で母語指導や日本語の初期指導をしている。また、支援員が学校を訪れ、継続的な支援体制の整備をしている。

焼津市ネコ条例制定を

Q 猫の鑑札義務化や、散歩は犬同様飼い主が同行することなどを条例で定めてはどうか。

A 焼津市猫の愛護管理指導要綱があり、条例制定は考えていない。

Q 条例の必要性は全く感じないか。

A まずは条例ではなく、適正飼育等の周知を図っていきたい。



おかだみつまさ
岡田光正
(無党派)



主軸である「都市計画道路等」の整備促進・推進を！

Q 焼津広幡線の周辺道路整備工事費の財源確保を伺う。

A 国土交通省の社会資本整備総合交付金を積極的に活用し、予算の確保に努めている。

Q 小川島田幹線と農免道路の整備状況は。

A 小川島田幹線については、4車線化に必要な用地確保を進めている。農免道路については、計画区間215mの整備を進めるとともに用地の確保を行っている。

Q 志太東幹線の整備として高新田、利右衛門、吉永地区の現状と今後の見通しは。

A 地元説明会などを通じて、地域の皆様のご意見を伺いながら事業調整を進め、整備促進・早期完成に努める。

Q 志太中央幹線の整備として、小川島田幹線との交差点から南に向けての整備は。

A 農免道路と接続する県事業の小川島田幹線の整備状況を踏まえながら調整を図る。



おくがわきよひこ
奥川清孝
(凌雲の会)



都市計画道路図・主要幹線道路図
(赤色は一般質問の位置)
※奥川作成の略図

DX推進計画における健康・医療・福祉政策

Q 地域包括ケアシステムの構築にあたって今後どのようにデジタル化を進めていくのか伺う。

A 住民と専門職の地域での包括的支援ということが大事である。お互いの顔が見える関係づくりが一番重要で、どのようなデジタルを使って効果的なものができるか、関係者の方々の意見を伺いながら進める。DX推進計画においては、2025年度までに市民の健康増進に係る取り組みを着実に進める。

災害時の自助共助を支えるための公助「防災保険」の創設を！

Q 実際の災害時に被災者の救助にあたった市民や避難所で運営を担う市民が何らかの事故にあった場合の保険について伺う。

A 市には災害時の市民の活動に対する保険はないが、自主防災会や消防団との連携による組織的な体制の強化に努めている。

Q 宇都宮市では災害時に支援者の活動が安心して行えるよう、市が保険会社と契約して万一の事故に備える補償制度をスタートしている。市でも検討してはどうか。

A 宇都宮市には聞き取りをして保険の内容、適用するものをしっかり調査していく。

HPVワクチンの情報提供のあり方と子宮頸がん検診状況

Q 9価シルガード9では重篤な副反応が増えている。市はどのように受け止めているか。

A 市民が副反応について理解した上で接種の判断ができるよう、丁寧な情報提供に努めていく。



あきやまひろこ
秋山博子
(無会派)



Q 子宮頸がんワクチンの副反応に今も苦しんでいる女性たちはワクチンではなく検診で予防してほしいと呼びかけている。市の検診率、および無料クーポンの利用率はどうか。

A 令和4年度は受診率17・5%、無料クーポン利用率は5・8%である。

Q 検診を受けなかった人に自己採取の点検キットがあることをお知らせし、申し込んでいただくことを検討してはどうか。

A 専門家の意見を伺って慎重に検討しているところである。



「HPVワクチンのほんとうのこと」
(東京訴訟支援ネットワーク)

安心・安全で快適に暮らせるまちづくり

Q 災害時ドコモ、au、ソフトバンク、楽天の回線が使えなくなった場合は、どのような方法で防災情報を市民に伝えるかを伺う。

A 焼津市地域防災計画に基づき、災害時における情報通信の重要性に鑑み、災害時の通信手段確保のため、防災行政無線等の情報通信システムの耐震性の強化及び停電対策、情報通信施設の危険分散、通信路の多ルート化など、防災対策の推進を図っている。

Q 高齢者など、スマホ等がうまく使えない人に対しての情報伝達手段をどう考えているか伺う。

A 防災出前講座や公民館スマホ講座などにおいて、スマホを活用した防災に役立つ情報収集の方法や、日常生活の中で簡単に情報を得ることができるラジオ・テレビの放送、加えて、テレビのdボタンなどにより情報発信の強化をしていることを丁寧に説明している。



はら ぎまひろ かず
原崎洋一
(凌雲の会)



Q 焼津漁港と大井川港の津波対策施設は、いつ完成するのか。

A 焼津漁港胸壁や防波堤の粘り強い構造への改良は令和13年度の完成を目指し、大井川港については国の補正予算も積極的に活用し、事業の進捗も加速させている。

Q 高齢者、障がいのある方等の避難の対策は。

A 近隣住民のネットワークを避難行動要支援者名簿、個別避難計画を作成し、情報共有をしている。



焼津市防災ポータルサイトのトップページ

新型コロナウイルス感染症対策

Q 新型コロナウイルスの感染予防効果及び発症予防効果、重症化予防効果に関して、市としてはどのように評価されているのか伺う。

A 予防接種法の特例臨時接種として実施しているところであり、ワクチンの評価については述べる立場ではない。

Q 厚生労働省の公表によると、1977年2月から2021年までの45年間で全てのワクチン接種による健康被害は3522件である。新型コロナウイルスの健康被害は2021年2月から2023年5月31日の28か月間で2639件である。また4月28日の発表では、コロナワクチン接種後の死亡者数は2059人とのこと。新型コロナウイルスの副反応や重篤者数、死亡者数のデータを市民に分かりやすく接種券送付と一緒にお知らせするべきではないか。

A 予防接種法に基づいて実施をしているところで国の情報、周知を図



すずき まゆみ
鈴木まゆみ
(無党派)



るといふ、国からの指示等に基づいて周知を図っていく方針。

Q ワクチン接種券を申請式にできないか。

A 様々な情報を提供した上で、各個人に判断していただくという考えで、従来の方式通り、今後も行っていく。

昆虫食への考え方

Q 農林水産省・政府系企業における昆虫食推進があるが、本市は学校給食に昆虫食を取り入れる予定はあるのか。

A 学校給食に昆虫食を取り入れる予定はない。



小・中学校の水泳授業の見直し

Q 小・中学校の水泳授業の見直しが全国的に進められていると聞く。本市における今年度の水泳授業の試行方法を伺う。

A 今年度は施設の老朽化が見られる小・中学校8校を対象に学校間での共同利用、市営プールである水夢館と青峯プール利用、民間プールの利用や民間プールでのインストラクターによる指導補助といった多面的な試行方法で授業を実施している。

中学校地域クラブ活動の推進

Q 本市における地域クラブ活動推進事業の進捗状況を伺う。

A 昨年度より柔道、海洋体験等の全5種目で地域クラブ活動を開始した。本年度は5種目に加え、陸上競技、ソフトテニスなど全12種目で開始した。来年度からの開設を目指して野球、サッカーなどの団体種目、吹奏楽などの文化系クラブについても検討を行う計画である。



村田正春
(凌雲の会)



焼津AC
陸上競技場での練習風景

外国につながる児童・生徒支援

Q 支援の取り組み内容を伺う。

A プレ教室は、新たに入学してきた児童・生徒がスムーズに転入するための準備をする教室であり、プレスクールでは、就学前の幼児を対象に12月から3月までに7回、小学校での生活などについて指導している。学校においては、加配教員による取り出し授業を行ったり、支援員や通訳が面談で支援や指導を行ったりしている。

大切な子どもたちの学びと生活の場で頑張る職員の処遇改善を

Q 教員の残業時間の実態は。

A 1か月の平均時間は約45時間。繁忙期では約60時間。

Q 教員不足について、現場の声は確認しているか。

A 年度初めは職員の不足なく、育休予定等は教育委員会では把握。

Q 教職調整額の増額よりも、長時間労働の解消を求める現場の声があるが、どう認識しているか。

A 国が主導するものだが、根本的な定数改善が必要だと思う。

Q 放課後児童クラブの支援員数は省令基準を満たしているか。

A 全クラブが基準を満たしている。

Q 放課後児童支援員等処遇改善事業における、処遇改善の内容は確認しているか。

A 各クラブの実績報告により確認。

Q 学校に行けない・行かない児童・生徒の支援、居場所等は。

A アトレと大井川庁舎に適応指導教室を開設している。民間施設等の利用もあり、施設によっては指導要録上の出席扱いにする等している。



杉田源太郎
(日本共産党市議会議員団)



る。また、民間施設等への財政支援には課題が想定され、市単独では難しいと考える。

Q いろいろな支援の最終目的は。

A 子どもたちが将来大人になったときに人と接すること、自立して生きていくことができることである。

Q 子ども関連部署や、女性の多い会計年度任用職員の処遇改善を。

A 正規職員等の給与水準と照らし、見直している。今後も国等の動向を見つつ検討していきたい。

Q 保育士の処遇改善を。

A 配置基準の見直しは大切で、保育士の確保とセットで総合的に検討していくべきと考える。



書名：「学校」ってなんだ？
出版社：(株)Gakken
著者名：伊藤美奈子

インクルーシブ社会に向かって 教育と公園整備への取り組み

Q 特別支援教育への現状を伺う。

A 特別支援学級について、小学校は知的特別支援学級6校103人、自閉症・情緒障がい学級5校57人、肢体不自由学級1校4人。中学校は知的特別支援学級5校58人、自閉症・情緒障がい学級5校34人、肢体不自由学級1校2人。また通級指導教室の小中学校では、ことばの教室3校41人、学びの教室（発達通級）3校101人。中学校では発達通級が2校42人。

Q 教員や支援員の配置は十分か。

A 支援を必要とする児童生徒が増加しているため、市独自に増員配置をしているが、今後も適切な支援員数を検討していく。

Q 障がいのある子もない子も安心して遊べる公園整備を伺う。

A 車椅子利用者が手入れしやすい花壇、一目で分かるピクトグラム表示、補助手すり付きベンチ、車椅子で利用できる水飲み場への取り替えを実施している。



男性へのHPVワクチン接種の推進を！

Q 女性特有の子宮頸がんの主な原因

であるヒトパピローマウイルス（HPV）の感染は、男女間で感染を繰り返すため、男女にワクチン接種をすることで感染拡大を効果的に抑えることができるが、男性へのワクチン接種は全額自己負担になる。本市において男性へのHPVワクチン接種費用の公費助成をすべきと考えるが市の見解を伺う。

A 男性への接種の推進は、議論が始まったばかりで今後国の動向を注視して検討を深めていく。



川島 隆 要
(公明党議員団)



台風第2号・石脇川新水門で夜 中まで稼働したと聞く排水対応

Q 6月2日の台風第2号の影響から、

市が災害対策本部を立ち上げ、関係者の尽力により市内道路の一部で冠水はあったものの、床上・床下浸水がゼロだったと聞き本当に良かった。石脇川新水門の排水対応を伺いたい。

A 市内全体では、前もって前線が近づいていれば数日前から準備をする。前日は水利ダムの開放、大井川土地改良区の水門、避難所の準備体制も整える。今回は前線と大潮が重なるおそれがあるので排水ポンプ車も自動体制を整備していた。石脇川新水門では瀬戸川の水位の上昇や豪雨の状況等を見て、午後排水ポンプ車を自動させた。



焼津市水防活動用排水ポンプ車
(総合水防訓練にて2023/6/18)



深田 由里子
(日本共産党市議会議員団)



そして、新水門は16時30分頃閉まり始め、18時頃から排水ポンプ車を稼働させ、東部、北部の排水機場も稼働させた。

ボタン電池の回収支援を

Q 補聴器は1〜2週間に1回、人工内耳は2日に1回ボタン電池を交換しなければならぬが、資源物収集日に出せなくなった。①水銀フリー製品は出せるのでは。②回収協力店の情報提供を。

A ①本体のみでは判別は困難。②環境衛生自治推進協会と連携し、分かりやすい情報提供に努める。

「健康保険証」の継続こそ

Q 政府は法改定で健康保険証を廃止し、任意取得のマイナンバーカードを健康保険証と一体化させるとしている。国民皆保険制度を崩壊させてしまうため、健康保険証を廃止しないよう国へ求められたい。

A 国の施策として行われるもの。

安全・安心な まちづくりのために

Q 今後の水害対策を伺う。

A 市では今年度小石川流域の治水対策として、遊水地の事業化を進め、柴田川、前の川流域において雨水の流出抑制対策の検討を行っている。本年3月、新たに防災ポータルサイトを構築し、気象や避難・避難所・道路の情報を一元化して公開している。

Q 地震・津波対策を最小限にするための取り組みは。

A 今年度から新たに作成した焼津市地震・津波対策アクションプログラム2023に基づいて、引き続きハード・ソフト両面からさらなる対策を進める。市では潮風グリーンウォークや大井川港胸壁の整備、県では焼津漁港胸壁・防波堤の粘り強い構造への改良工事を進めている。

Q 近年多発する自然災害に対処するため、消防団へどのような活動が求められるか。

A 広範囲にわたる災害発生時、市が情報収集活動を迅速かつ的確に行



みやま しのぶ
四之宮慎一
(凌雲の会)



うなどのため、全ての分団にスマートフォンやタブレットなどのデジタル機器の配備を行い、消防団の組織力の向上を図るため積極的に支援していく。

Q 特殊詐欺防止の取り組みを伺う。

A まず自宅の電話から始まることが多いので迷惑電話チェッカーの設置業務を行い、市内で不審電話が発生した場合は焼津警察署からの依頼を受け同法無線で注意喚起を行っている。毎月15日は市内の銀行やスーパーマーケットで特殊詐欺被害発生ゼロのキャンペーンを実施している。



消防団の消防ポンプ自動車

介護人材不足への対応

Q 今後の人口構造を考えると、介護サービスの安定的な供給は不可欠である。介護人材に関して市の認識は。

A 事業所からは求人募集しても人材が集まりにくいという声が聞かれる。職員不足により定員まで利用者を受け入れられることができない事業所も見られ、人材の確保が課題であると認識している。

Q 人材確保の取り組みは。

A 介護に関心を持つ介護未経験者を対象に基本知識を学ぶ入門的研修を実施し、希望者には事業所とのマッチングを行っている。



いづてつや
井出哲哉
(凌雲の会)



Q 学生を対象として介護というものを伝える機会はあるか。

A 市内高校で介護を含む福祉関係の職場に就きたいという生徒を対象に講義を行ってきた。

栃山川以西の河川の治水

Q 近年の気候変動による大雨で、藤守や下小杉、惣右衛門、一色等でも冠水・浸水被害がある。治水上の支障の恐れとなる栃山川と藤守川の堆積土砂のチェックを行っているか。

A 市管理の藤守川河口部は出水期に月1回及び台風通過後等、定期的・臨時的に状況を点検し、必要に応じて、土砂浚渫等の対応をしている。県管理の栃山川河口部は地元等からの情報を県に報告し対応を依頼している。

Q 栃山川と藤守川の土砂浚渫の昨年度実績は。

A 栃山川は県が約5500m³、藤守川は460m³、令和3年度も460m³の浚渫を2回行った。

外国人市民と共生社会の実現へ 多文化共生の理解を深める為に

Q はじめての日本語教室について、参加者の方々の声や、運営の手応えに関して伺う。

A 教室終了後のアンケートで、積極的に地域の日本人住民と関わりを持つようになった、日本語学習への興味が高まった、今後も教室を継続してほしいといった回答で大変好評だった。

Q 学習の差がなるべく出ないように市としての取り組みは。

A 先ずは経験豊富なコーディネーターが面談をし、母語の定着度や



令和4年度 はじめての日本語教室の様子
(和田公民館にて)



いしはらたかゆき
石原孝之
(無党派)



日本語活用能力等、個々の子ども
の現状を的確に捉え、力を伸ばす
ためにどのような支援が効果的で
あるか判断する。その上で児童・
生徒が楽しく日本での生活を送る
ための個に応じた支援として、就
学前にプレ教室での母語指導や日
本語の初期指導の実施、学校に在
籍する児童・生徒には指導内容に
応じた支援員が個別指導を行って
いる。

Q 不登校の外国人児童・生徒に
対しての市の取り組みは。

A 本年度より教育委員会内に学校福祉部を設置し、子ども支援課と家庭支援課で連携して不登校児童・生徒の支援に当たっており、外国につながる児童・生徒においても同様に行っている。

Q 市として、ゴミ出しに関する啓蒙活動は。

A はじめての日本語教室で昨年10月にゴミの捨て方をテーマにした学習会を実施している。

全国市議会議長会表彰

東海市議会議長会表彰

令和5年4月に開催された「東海市議会議長会総会」および6月に開催された「全国市議会議長会総会」において、市政の振興と地方自治の進展に寄与され功績のあった岡田光正議員、池谷和正議員に表彰状が授与されました。

- 特別表彰 議員10年以上
……岡田光正議員（写真左）
- 感謝状 全国市議会議長会地方行政委員会委員
……池谷和正議員（写真右）



地域消防力の充実強化 ～水槽付きポンプ自動車を更新～

焼津市職員の特殊勤務 手当に関する条例の一 部を改正する条例

Q 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い手当が廃止になったが、今後また感染症が拡大した場合にどうするのか。

A この特殊勤務手当は国の基準に沿って制定したものであり、今回も国が終了することに伴い廃止する。今後感染症が拡大した場合は、国が再度制定すると思われる、市もそれに合わせ対応することになる。

Q 特殊勤務手当の支給実績は。

A 県の応援職員として従事した職員に対して支給をしている。

焼津市税条例の一部を 改正する条例

Q 今回対象になる電動キックボードの基準やナンバーについて伺う。

A 現行では出力毎の原動機付自転車として課税されている。そのうち長さ1.6メートル、幅0.6メートル、出力0.6キロワット、最

高速度時速20キロメートル以下のものは特定小型原動機付自転車となり、現行よりも小型のナンバーが発行される。



Q 森林環境税を個人住民税と併せ徴収することだが、その考え方は。

A 森林環境税については住民税と一緒に徴収するよう国から要請されている。市としてはそれに従い実行していく。

豊田地域交流拠点施設 建設用地の取得

Q 交流拠点施設のレイアウトなどは確定しているのか。

A 現在実施しているところであり、基本設計業務の中で設計を行っている。今後は地元説明会を行い、

その際にいただいた要望等を踏まえ設計を進めていく。

水槽付き消防ポンプ自 動車の取得

Q 市内には狭あい道路が多く車両が入りづらいところもあるが、すべての分団の消防ポンプ自動車水槽付きになっているのか。

A 大井川の16、17、18分団の3地区には、狭あい道路の対策として水槽付き消防ポンプ自動車を配備している。

Q 焼津地区の本町、城之腰、鵜ヶ島なども狭あい道路が多いがこちらの対応はどうか。

A 市街地などについては消火栓などの消防水利整備が進んでいることから、CD1タイプの小型車両を配備している。

Q 消防ポンプ自動車の更新時期は。

また、納車が遅れることはないか。
A 更新時期はメーカーに確認したところ、15年とのこと。また、納車時期を落札業者に確認したところ、問題は無いとのこと。

温泉スタンド(市役所と焼津港1号井)が9月に稼働！
～市役所スタンドは市民等による温泉購入も可能～

市民福祉常任委員会

調停の申立て

Q 損害賠償提示額の根拠は。

A 公用車が衝突した塀の修繕費である。双方の主張に隔たりがあることから、調停にて双方の意見を聞き、話し合いにより合意することによって解決を図りたい。

建設経済常任委員会

焼津市温泉スタンド条例の制定

Q スタンドの温泉販売はいつからか。

A 9月1日より販売開始となる。

Q 市役所スタンドの一般利用料金を10ℓ毎に100円とした理由は。

A 1回30ℓで、1日30人が購入することを想定しており、施設に係る年間想定コストを賄えるよう、料金を設定している。

Q 一般的な浴槽の容量は200ℓ程度だと思われるが、1回の購入量を30ℓと想定している理由は。

A 焼津温泉は成分が濃いため、浴用施設への影響を考慮し、入浴剤のように薄めて利用してもらうことを考えている。



焼津市し尿処理事業特別会計補正予算

Q バキューム車更新のため、車両購入を令和6年度に行う債務負担行為とのことだが、いつ頃の納車か。

A 半導体不足の影響により、令和5年8月頃に発注し、令和6年12月から翌1月の納車を予定している。

Q バキューム車の更新目安は。

A 概ね10年10万kmを目安とするが、個々の車両の状態を見て判断しており、今回更新を予定する車両2台については、平成21年度に購入し、それぞれ走行距離が17万km、22万kmであった。

市議会インターネット中継をご覧ください！



焼津市議会映像配信

焼津市議会では、インターネットによる本会議のライブ中継と、録画映像を配信しています。傍聴に来ることができない場合でも、パソコンやスマートフォン、タブレット端末等で本会議の映像をご覧いただくことができます。(録画映像の配信は閉場ごとおおむね7日(土日祝日を除く)以降からご覧になれます。)

◇「焼津市議会映像配信」で検索！◇

70歳以上の高齢者へ商品券を配布！ 市内高齢者に外出するきっかけを提供

住民税非課税世帯支援 給付金給付事業費

Q 給付対象世帯数の想定とスケジュールは。

A 直近で実施した価格高騰緊急支援給付金の支給実績を元に9千9百世帯を推定している。給付は8月中旬になる。

Q もっと早く支給できないのか。

A 6月半ばに令和5年度住民税非課税世帯を特定した後に実施する必要があるため。

デジタル変革推進事業費

Q 事業の詳細とマイナンバーとXID（クロスアイディー）を連携することによる市民へのメリットは何か。

A マイナンバーカードを所有し、本人認証をした人を対象に、1人3千円のキャッシュレスポイントを2万人に配布する。XID連携については、今後の電子申請や通知等に活用することで市のデジタル施策の展開につなげていきたいと考えている。

Q キャンペーンの時期は。

A 10月から11月までの2か月を想定している。

多電力使用事業者 支援事業費

Q 事業費の内訳を伺う。

A 市内の中小企業者への補助が4千万円、協同組合への補助が2千万円の合計6千万円。

Q 事業者数は。

A 中小企業者を80事業者、協同組合を10組合と見込んでいる。

Q 受付時期は。

A 8月1日から9月29日までの期間とする予定。

貨物自動車運送事業者 支援事業費

Q 事業費の内訳を伺う。

A 1台あたり1万円の補助で、普通小型が2千台、軽自動車が350台の計2千350万円。

Q 受付時期は。

A 多電力使用事業者支援事業費（右記）と同様に進めていく予定。

高齢者いきいきおでかけ 支援事業費

Q 70歳以上の高齢者へ、市内の登録店舗で使用できる3千円分の商品券を配布することだが、いつ頃どのように送るのか。

A 10月上旬を想定している。対象者へゆうパックにて送付する。

Q 発送時期が遅いのはなぜか。

A 入札による業者選定と商品券の校正などに時間がかかるため、早くても9月下旬となる想定。

Q 使用期限はいつまでか。

A 2月29日まで。



政務活動費の実績について

Q 政務活動費とは？

A 会派が行う、市政に関する調査や研究を行うための調査費として議員に交付しています。焼津市では、議員1人当たり30万円（年額）を上限として会派に交付しており、使用されなかった分は、市へ返還します。（交付上限額を超過した分は自己負担です。）

■令和4年度（令和4年4月～令和5年2月分※）の実績一覧（会派ごと）

■**凌雲の会**（27万5千円×11人＝**交付額302万5千円**）

実績額 132万358円

- ①調査研究費 20万2,432円 ②広報費 40万7,520円
②要望・陳情活動費 26万7,990円 ④資料作成費 8万7,412円 ⑤事務所費 35万5,004円

■**市民派議員団**（27万5千円×4人＝**交付額110万円**）

実績額 42万2,676円

- ①調査研究費 35万7,140円 ②研修費 1万7千円 ③資料作成費 8,551円
④資料購入費 2万9,621円 ⑤事務所費 1万364円

■**日本共産党市議会議員団**（27万5千円×2人＝**交付額55万円**）

実績額 66万4,162円

- ①広報費 50万5,927円 ②資料作成費 11万8,305円 ③資料購入費 3万9,930円

■**公明党議員団**（27万5千円×2人＝**交付額55万円**）

実績額 6万8,243円

- ①資料作成費 2万2,593円 ②資料購入費 4万5,650円

■**無会派(秋山博子)**（**交付額27万5千円**）

実績額 21万580円

- ①研修費 7万円 ②資料購入費 14万580円

■**無会派(石原孝之)**（**交付額27万5千円**）

実績額 3万6,230円

- ①研修費 2万7,410円 ②資料購入費 8,820円

各会派の収支報告についての詳細は、市議会ホームページで公開しております。ぜひご覧ください。



焼津市議会 政務活動費



※令和5年2月の改選により、令和5年3月分は月割りで第19期議員の会派に交付

- 調査研究費 …………… 会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
研修費 …………… 他の団体の開催する研究会、研修会に参加するために要する経費等
広報費 …………… 調査研究活動等について住民に報告するために要する経費
要望・陳情活動費 …… 会派が要請及び陳情活動を行うために必要な経費
資料作成費 …………… 調査研究活動等のために必要な資料の作成に要する経費
資料購入費 …………… 調査研究活動等のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
事務所費 …………… 会派が行う活動に必要な事務所の設置および管理に要する経費

常任委員会行政視察報告

◇総務文教常任委員

埼玉県三郷市 消防団サポーター事業について
 日本一読書のまち推進計画の取り組み
 茨城県つくば市 スーパーサイエンスシティ構想の取り組み



◇市民福祉常任委員会

三重県名張市 農業と福祉をつなぐ農福連携
 岐阜県美濃加茂市 外国人市民と市民の多文化共生

◇建設経済常任委員会

埼玉県川越市 昔の街並みを活かした観光振興
 埼玉県新座市 中小企業を支援する「にいざビジネスサポート」



各委員会の行政視察報告は議会ホームページでご覧いただくことができます。
 (アップロードまでお時間を頂くことがあります。)

第56回焼津市議会議長旗争奪 サッカー定期戦



6月10日、「第56回焼津市議会議長旗争奪焼津水産高校対焼津中央高校サッカー定期戦」が、市営陸上競技場で開催されました。試合が始まると、中央高校が何度かシュートを試みますが、水産高校の硬い守備に阻まれます。そんな中、中央高校が前半34分に先制ゴールを決めました。さらに39分過ぎに追加点を決め、2対0でハーフタイムを迎えます。試合が後半に入ると、後半28分、中央高校がミドルシュートで追加点を決めました。水産高校は最後まで粘り強く攻めましたが、そのまま試合終了となり、中央高校が3対0で見事優勝を飾りました。

伝統の一戦

水産高校VS中央高校



両校サッカー部のさらなる活躍を期待しています！

市役所北側芝生広場に 足湯竣工！



6月30日、市役所北側芝生広場の足湯が完成したことを受け、竣工式が行われ、正副議長ほか各会派の代表者が出席しました。

市役所本庁舎グランド オープン記念式典



7月1日、市役所本庁舎グランドオープン記念式典が開催され、議長による来賓代表挨拶がありました。

9月の市議会



日程は変更になる場合がありますので、最新の情報はHPなどでご確認ください。

本会議の様子は、インターネット中継でもご覧いただけます。

日	曜日	内 容	開会時間
9/1	金	本会議（議案の上程）	9:00
9/19	火	本会議（一般質問）	9:00
9/20	水	本会議（一般質問）	9:00
9/21	木	本会議（一般質問・質疑）	9:00
9/22	金	委員会	9:00
9/25	月	委員会	9:00
10/4	水	本会議（委員長報告・質疑・討論・採決）	9:00

編集後記

「慈雨(じう)」「恵みの雨」など、日本語には夏の水不足の折に降り注ぐ雨に感謝を込めた美しい言葉があります。しかし、近年では水災害が多発していて、降り過ぎる雨を恨めしく思うことが多くなりました。今年も6月から記録的な雨量が観測されるなど、台風シーズンが過ぎ去るまで心配は尽きません。

議会では市民の皆さまの抱える多くの心配に寄り添った活動や審議を心がけ、その内容を分かりやすく本誌にまとめてお届けしていきます。
(河合)

やいづ市議会広報特別委員会

河合一也、深田ゆり子、四之宮慎一、村田正春、原崎洋一、川島 要